

平成17年6月1日
株式会社 新生銀行
(コード番号 : 8303 東証第一部)

農林中央金庫とのリース事業における業務提携の検討開始について

当行は、農林中央金庫(以下、農林中金)と、一般リース事業及びオートリース事業における業務提携について、検討を開始することで合意いたしました。今回の業務提携は、昭和リース株式会社(以下、昭和リース)および協同リース株式会社(以下、協同リース)のマーケティング及びオペレーション上のシナジーを実現化することにより、両社の長期的な成長と企業価値の向上を目指すものです。

なお、昭和リースは、2名の取締役(常勤、非常勤各1名)を農林中金及び協同リースより選任いたします。この取締役就任は、6月27日開催予定の昭和リース株主総会で承認される予定です。

協同リースは、JAグループを中心に、金融関連、情報関連・事務機器、商業用設備機器、産業・工作用機械、45,000台を超える輸送用機械等のリースを行っているリース会社です。

昭和リースは、平成17年3月に、当行の子会社となり、当行のノンバンクビジネスにおいて重要な役割を担うリース会社で、りそな銀行とも営業面での協力関係を維持しています。昭和リースは、連結ベースで5,500億円の資産を有し、中堅中小企業を主体とする40,000社の顧客に対して、産業用機械・商業用機器・事務機器など、幅広いリースを提供しています。昭和リースはその100%子会社である昭和オートレンタリース(株)を通じて約75,000台の車両のリースを行なっています。

以上